

ダイヤモンドワイヤー 取扱説明書

◎ このたびはお買い上げいただき、ありがとうございます。

◎ ダイヤモンドワイヤー（以下、ワイヤー）の性能を最高に発揮させるとともに、災害を防止し安全にご使用いただくために、ご使用前に本書と使用する機械の取扱説明書を必ずお読みのうえ、指示にしたがって正しく安全にご使用ください。

◎ 本書では小型油圧ワイヤーソーDSM-103A（以下、ワイヤーソー）を使用した時の取扱い方法を説明しています。使用する機械の取扱説明書を必ずお読みのうえ、指示にしたがって正しく安全にご使用ください。

◎ お読みに became 後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

◎ 取扱いを誤ると事故やけがをする恐れがあります。

この取扱説明書では取扱いを誤った場合に想定される危険や損害の程度を「⚠警告」と「⚠注意」の2段階に分けて表示しています。

⚠警告：誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

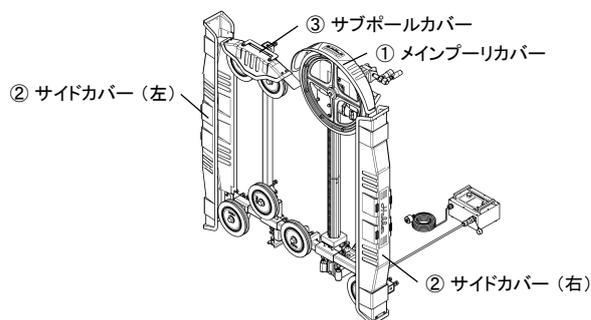
⚠注意：誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

【1】ワイヤーを使用する時の安全対策

◎ 作業には安全教育を徹底して行ってください。

1. 各カバーは必ず取付けて使用してください。

ワイヤーの破断やスリーブ抜けによるスリーブの飛散を防ぐためにも、①メインブリーカカバーおよび②サイドカバー（左右2個）と③サブポールカバーは、必ず取付けて作業してください。



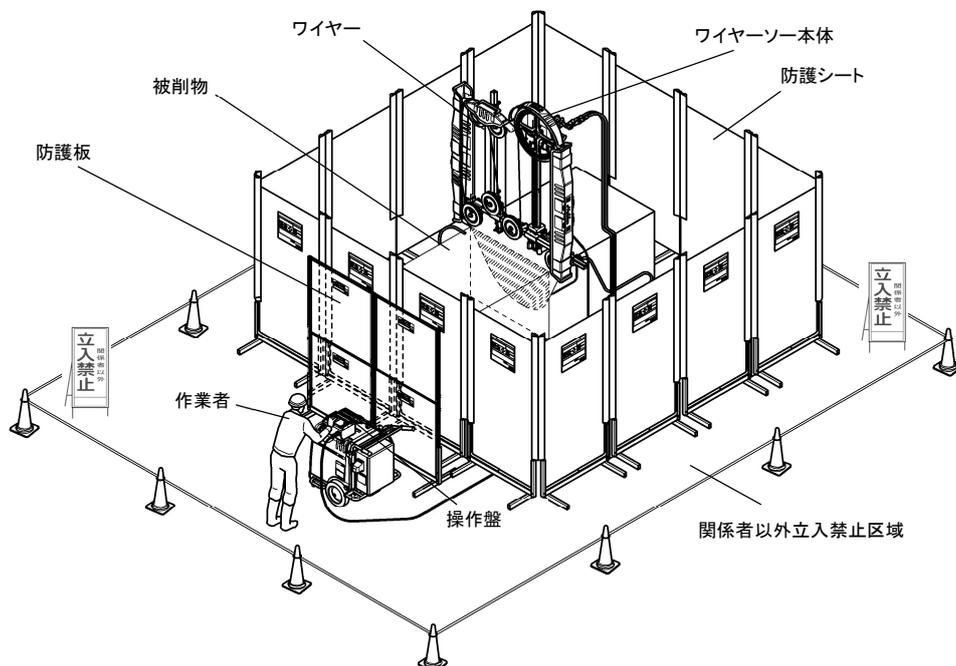
⚠ 警告

各カバーを使用しないとワイヤーの破断やスリーブ抜けにより、飛散物があたりけがをする危険がありますので、メインブリーカカバーおよびサイドカバー（左右2個）とサブポールカバーは、必ず取付けて使用してください。

2. 防護シートは必ず設置してください。

◎ 切断作業を行う時は、必ず防護シートと防護板を設置してください。

- 1) 防護シートはワイヤーソー本体と被削物を囲むように設置してください。作業者は防護シートで囲まれた施工領域の外から操作し、作業者の前には防護板を設置してください。
- 2) ワイヤーの破断やスリーブ抜けなどにより、スリーブが飛散した場合でも周囲に危険がないように、防護シートの設置および関係者以外立入禁止の区域を設けるなどの措置をとってください。



⚠ 警告

1. ワイヤーが破断した時、飛散した破片があたりけがをする危険があります。施工場所周辺には関係者以外立入禁止区域を設け、関係者以外は絶対に近づかせないでください。
2. ワイヤーの破断やスリーブ抜けを想定して、スリーブ等の飛散方向も考慮した防護処置を行ってください。
 - ◎ 必ず防護シートをワイヤースー本体と被削物を囲むように設置し、スリーブ等が飛散した場合でも周囲に危険がないようにしてください。防護処置が不完全な場合は、重大な事故につながり大変危険です。

3. 作業環境・安全保護具・服装についての注意

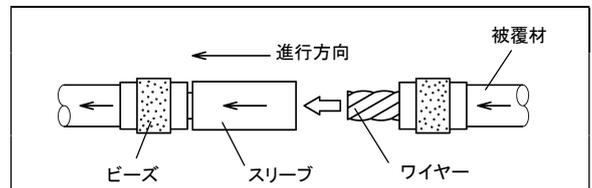
- ◎ 引火や爆発の恐れがない場所で、必ず安全保護具を着用し、きちんとした服装で作業を行ってください。

⚠ 警告

1. ワイヤーは使用中に火花を発生させることがあります。引火や爆発の恐れのある場所では使用しないでください。
2. 作業者は保護めがね・滑り止めのついたゴム手袋と履物・防じんマスク・耳せんなどの安全保護具を必ず着用してください。
3. だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

【2】ワイヤーの接合

- ◎ 右図のようにスリーブの矢印とワイヤー進行方向の矢印を合わせて、正しく接合してください。



⚠ 警告

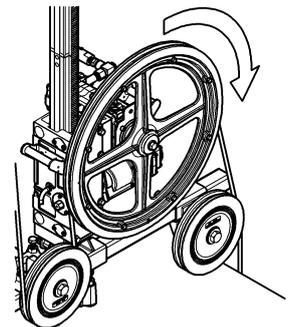
1. スリーブは付属品または、当社専用のスリーブを、必ず使用してください。
2. スリーブの矢印とワイヤーの進行方向の矢印が合っていないと、スリーブが飛散する恐れがあり大変危険です。使用する機械の取扱説明書に記載の、「ワイヤー接合方法」およびスリーブの取扱説明書をよく読み、正しく使用してください。
3. 当社専用の「手動油圧プレス EP-300N」または「充電油圧プレス BP-8.5T2」を使用してください。（使用の際は必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、指示にしたがって使用してください。）
4. 手動／充電油圧プレスに異常がある場合は絶対に使用しないで、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお問い合わせください。
5. 複数のワイヤーの接合(スリーブでの接合が2箇所以上)は行わないでください。また、使用中は接合部を定期的に点検し、異常のある場合は接合しなおしてください。
6. ワイヤーの最高使用周速度は30m/sです。最高使用周速度を絶対に超えないでください。最高使用周速度を超えて使用すると、ワイヤーが破断し飛散して大けがをしたり、機械を壊す恐れがあります。
7. ワイヤースーに取付ける前に、4頁「ワイヤー接合部点検確認表」を使用して合否判定を行い、合格であれば使用してください。異常が発見された場合は、正しく修正した後に使用してください。

【3】ワイヤーの取付け作業

- ◎ 取付けの際にはワイヤーの切断方向の矢印とメインプーリの回転方向(メインプーリ側から見て時計回り)を合わせてください。

⚠ 警告

1. ワイヤーを取付ける時は、必ず油圧ユニットを停止させてください。不意にメインプーリが回転し、巻き込まれたり、けがをする恐れがあり大変危険です。
2. メインプーリおよびガイドプーリに異常摩耗がないことを確認してください。
3. ワイヤーが各カバーと接触していないか、使用中に接触する恐れがないか確認してください。ワイヤースーおよび各カバーを破損する恐れがあります。



☒ 注意

1. 被削物の角がとがっているとワイヤーが引掛かり、メインプーリーが回転しなかったり、空回りすることがあります。ワイヤーを取付ける前に角を落とし、丸くしておいてください。
2. ワイヤーが折れ曲がったりしないように、被削物へのワイヤーのかけ方に注意してください。適切なかけ方をしていない場合、ワイヤーがロックしたり、偏摩耗する恐れがあります。

【4】切断作業

☒ 警告

1. 切断作業中は、絶対に防護シートで囲まれた施工領域に入らないでください。また、関係者以外は近づかせないでください。
2. 切断作業中は適切な給水を行ってください。ワイヤーは過熱すると、寿命が短くなり切断能率も低下し、ワイヤーの破断、スリーブ抜けの原因にもなります。(乾式は除く)
3. ワイヤーソーおよびワイヤーに異常が発生した場合は、ただちに作業を中止して点検を行ってください。
4. ワイヤーを接合しているスリーブは、実切断1時間ごとに交換してください。

【5】ワイヤーの取りはずし作業

☒ 警告

ワイヤーを取りはずす時は、必ず油圧ユニットを停止させてください。不意にメインプーリーが回転し、巻き込まれたり、けがをする恐れがあり大変危険です。

【6】点検・保管

保管の前に下記事項を確認してください。

- ◎ ビーズ・被覆材・スリーブ等の損傷がないか点検してください。
- ◎ 未使用のスリーブは、ビニール袋に入れて保管してください。
- ◎ 保管は落下や衝撃が加わる恐れのない安全な場所で、湿気のない乾燥した場所に整頓して保管してください。

☒ 警告

1. 再度使用する場合は、ビーズ・被覆材・スリーブ等の損傷がないか、サビが発生していないか、必ず点検してください。
2. 損傷のある場合は、絶対に使用しないでください。

本製品に関するお問い合わせは、下記アドレスまたはQRコードにアクセスしていただき、最寄りの支店および営業所へ直接ご連絡ください。

<http://www.consec.co.jp/works/hakken.html>



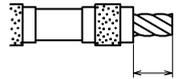
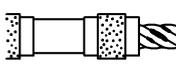
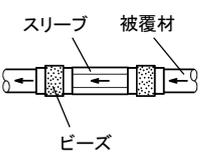
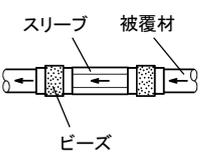
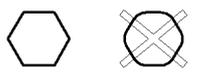
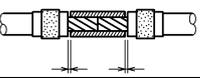
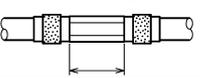
株式会社コンセック

〒733-0833 広島市西区商工センター4-6-8

E1652-3

ワイヤー接合部点検確認表

作業前に、この「ワイヤー接合部点検確認表」をコピーし、この項目にしたがって点検してください。必ず記入して大切に保管してください。合否判定が否の場合は、確認項目の指示通りとなるように修正してください。

ワイヤー接合部点検確認表						
現場名						
接合年月日						
接合者名						
点検者名						
油圧プレス 製造番号						
検査時期	検査名	状態	確認項目	合否判定	備考	
接合前	寸法検査	ワイヤー被覆材の除去長さ 	10mm	合・否		
		ワイヤー被覆材の除去状態 	ワイヤーロープ表面のゴム被覆を除去できているか	合・否	きれいに除去する	
	ゴム被覆の場合					
	外観検査	スリーブの状態 	樹脂被覆の場合 	ワイヤーロープの溝に樹脂被覆が残っていないか	合・否	
			油圧プレス 当社専用ダイス 	油圧プレスは当社専用ダイスを取付けた「手動油圧プレス EP-300N」または「充電油圧プレス BP-8. 5T2」であるか	合・否	
		※イラストはEP-300N	圧力は8~8.5トンか	合・否	当社サービス係にて調整	
			当社専用ダイスの表面に亀裂・破損はないか	合・否		
外観の状態 			接合部の摩耗、曲がり、割れがないか	合・否		
接合後	外観検査	スリーブ 被覆材 ビーズ 	ビーズの欠け、割れ、ゆるみ、脱落がないか	合・否		
			被覆材の摩耗、脱落によるワイヤーロープの露出がないか	合・否		
			断面の形状 	六角形の各辺がほぼ均等で偏っていないか	合・否	
	スリーブとビーズのすきま 	六角形の各辺の角部がとがっているか	合・否			
		片側0.5mm以下	合・否	スリーブからワイヤーロープの素線がはみだしていないこと		
スリーブの長さ 	22mm以上(圧着後)	合・否				

※ワイヤーを接合しているスリーブは、実切断1時間ごとに交換してください。